

構造地質研究会誌 索引 第1号—第29号 (1966.7—1983.7)

構造地質研究会誌第1号 (1966.7)

構造地質研究会の発足 …… その2つの目的 ……	藤田 至 則 ……	1
祝 辞・メッセージ ……	牛来正夫・加納 博 ……	3
<構造地質研究会>に期待すること ……	大 草 重 康 ……	4
ベロウソフの褶曲観 ……	垣 見 俊 弘 ……	5
お知らせ ……		7
トピックス ソビエト地質学者を名大にむかえて ……		8
現代化革命のすすめ ……	熊 沢 峰 夫 ……	9
本の紹介 J. Talobre, La Mecanique des Roches -Appliquee aux travaux publics ……		13
編集後記 ……		14

構造地質研究会誌第2号 (1966.12)

断裂系解析における Compatibility の概念 ……	平 野 昌 繁 ……	1
構造地質学に何を期待するか ……	熊 沢 峰 夫 ……	5
第1回例会の報告 ……	事 務 局 ……	17

構造地質研究会誌臨時号 (1967.4)

三戸海岸の断層系統 —— 年末技術講習会の報告 —— ……………	垣見俊弘・平山次郎 ……	1
岩力物性・構造解析を志ざす学生・研究のために ……	笠 原 順 三 ……	7

構造地質研究会誌第3号 (1967.9)

変形速度論とその意義 ……	植 村 武 ……	1
電研における岩石の物理的性質に関する試験・研究の現況について ……………	糟谷憲司・本荘静光 ……	3
活動報告 ……	事 務 局 ……	6
会員すいせん図書, 会員だより, 編集後記 ……		7

構造地質研究会誌第4号 (1968.5)

高温・高圧下における岩石・鉱物の超低速度変形について ……………	小 林 洋 二 ……	1
地質構造の物理学的解析をめざす既成の geologist のための参考書 ……………	植 村 武 ……	4
(提 案) 構造地質に関する用語について ……	塩 見 俊 弘 ……	6
活動報告 ……	事 務 局 ……	8
会員消息 ……		9
<編集後記> ……		9

構造地質研究会誌第5号 (1968.9)

地震の起り方と地殻の構造状態	茂木清夫	1
ソ連における Tectonophysics の研究状況	平山次郎	4
(本の紹介)	植村武・垣見俊弘	7
ニュース		9
活動報告(事務局)・<編集後記>		11

構造地質研究会誌第6号 (1969.5)

論文紹介 N.J. Price (1959) Mechanics of Jointing in Rocks	植村武	1
カンパを訴える!		2
ソビエトの研究生活	平山次郎	3
抄録		7
活動報告		10
お知らせ		11
会員消息		11
編集後記		12

構造地質研究会誌第7号 (1969.10)

<春の構造地質研究会例会>		
◇講演要旨		
屈折法地震探査の旨点(2つの典型例)	飯塚進	1
◇論文紹介		
H. Ramberg: Fluid dynamics of layered systems in the field of gravity	加藤碩一	4
<文献紹介>		
◇褶曲関係		
N.J. Price: The initiation and development of asymmetrical buckle folds in non-metamorphosed competent sediments.	植村武	6
W.M. Chapple: Fold shape and rheology	角田史雄	7
◇大構造関係		
W. F. Tanner: Tertiary Sea-Level Fluctuations	藤田至則	7
L. R. Sykes: Seismological Evidences for Transform Fault Sea Floor Spreading and Continental Drift.	杉山明	8
<記事>		9
<本の紹介>		9
<会員消息>		10
<編集後記>		11

Stabler, C. L., (1968) : 褶曲形の単純化したフーリエ解析	24
Sherwin, J. A. & Chapple, W. M., (1968) : 単一層褶曲の波長, 理論と観察の比較	25
Minato, F., & Funahashi, M., (1970) : 地殻の起源と変化	27
Journal of Geology, vol. 77	27
" vol. 78	28
Marine Geology, vol. 7	28
Geological Magazine, vol. 106	29
Tectonophysics, vol. 7	29
H. Ramberg の褶曲関係文献リスト	30
<ニュース>	
G D P	32
東教大構造ゼミ "夏の学校"	33
静岡大での "構造地質シンポジウム"	34
冬の勉強会	34
会員の消息	35

構造地質研究会誌第 11 号 (1971.10)

<夏の学校特集>

アルプス・ヒマラヤ・アパラチア	山下 昇	1
南関東の第四紀地殻変動	垣見 俊弘	2
地殻及び上部マントルの熱的状态の考察	小林 洋二	7
震央分布と地質構造の関係について	関口 静嘉	8
新潟県櫛形山脈の断裂構造	高橋 明	10
北部フォッサ・マグナ地域, 鬼無里周辺の地質構造		
- 主に鬼無里背斜・日影向斜の性格について -	市野 文明	11
砕屑岩岩脈から見た破断の形成	鈴木 博之	14
襟裳岬・歌露礫岩の変形について	卯田 強	16
地質構造の光弾性モデル実験	衣笠 善博	18
箱型背斜の翼部に発達する断裂について粘土を用いた実験		
.....	小玉 喜三郎	20

<研究室めぐり>

① 東北大学構造地質学研究室	
----------------------	--

<文献紹介> <報告> <ニュース>	21 - 23
--------------------------	---------

構造地質研究会誌第 12 号 (1972.2)

<冬の学校特集>

◦プレートテクトニクス勉強会		
"プレートテクトニクス勉強会" のあとさき	垣見 俊弘	1
Dietz (1961), Vine & Matthews (1963), Vine & Wilson (1965),		
Heirtzler et al (1968), Wilson (1965), Sykes (1967), Le Pichon (1968),		
Mckenzie & Parker (1967), Morgan (1968), Heirtzler (1968),		
Isacks et al (1968), Dewey (1969), Dewey & Bird (1970),		

Dewey & Bird (1970), Utsu (1967, 1968).		
造山帯に関する最近の考え方	松田時彦	16
◦研究発表		
構造解析における Hafner モデルの3次元化	平野昌繁	18
◦総合討論		
<報告>		
Price はいかにして三軸応力下のポアソン比を測定したか	植村武	23
イギリスの構造地質研究グループ	植村武	24
<研究室めぐり>		
② 工業技術院地質調査所		26

構造地質研究会誌第13号 (1972.12)

<夏の学校特集>		
アフリカ大地溝帯について	矢入憲二	1
変形した地向斜堆積物からなる地殻層の厚さ	山下昇	3
火成活動の構造規制	藤田至則・萩原茂・関根勇蔵	6
八ヶ岳周辺の火山活動とその問題点	小坂共栄	7
新潟県新津背斜の構造解析(予報)	新津構造団研グループ	8
房総半島の水準点の変動解析	石川正晴・小北悟・村田康夫 鈴木尉元・小玉喜三郎	10
封圧下における岩石のポアソン比測定	宇井啓高・服部昌樹	12
造構応力を受けた岩石の弾性波速度について(予報)	衣笠善博	13
花崗岩類岩体の上昇から求めた岩崗岩類および上部地殻の粘性係数について	大槻憲四郎	14
断層系に囲まれたブロックの流動変動	横田修一郎	16
構造地質学における次元解法	嶋本利彦	18
造構運動に関する BELOUSSOV の仮説は正しいか	嶋本利彦・池田幸夫	19
確率論的モデルについて	水谷伸二郎	20
<海外だより>		
ゲラルス・ナッペの発見をめぐって	星野一男	23
Imperial College の試験問題	植村武	26
<研究室めぐり>		
③ 新潟大学構造地質学研究室		34

構造地質研究会誌第14号 (1973.4)

<冬の学校特集>		
地殻熱流量解釈法入門	安井正	1
海洋地磁気とその解釈	伊勢崎修弘	3
異端の mobilist と3人の anti-mobilists	垣見俊弘	5
阿武隈高原北部松ヶ平地域の構造地質学的研究	原都夫・池田幸夫・梅村隼夫	7

未団結堆積岩の変形について	八木下 晃 司	9
地殻および上部マントルの“フィルター作用”について		
— 地質学的データから深部造構運動へのアプローチ —	大 槻 憲四郎	10
岩石物性と地下における割れ目		
— 特に火成活動との関連について —	小 出 仁	11
灰爪層・西山層の岩石物性と山中背斜	服 部 昌 樹	12
Buckling folds の弾性モデル実験について	加 藤 碩 一	13
断層の発生と発達および断層転移の規模別頻度分布の規則性について		
……………小玉喜三郎・垣見俊弘		14
湖南山地における節理解析	横 田 修一郎	16
紀伊半島西部における和泉層群の地質構造と中央構造線との関係		
……………宮田隆夫		17
西日本の地殻内地震の発生条件について	倉 沢 仁・西本敏幸	18
	鈴木尉元・小玉喜三郎	
〈随 筆〉		
グラルス・ナッペの発見をめぐって(その2)	星 野 一 男	20
現代構造地質学断片	植 村 武	22
〈研究室めぐり〉		
④ 東京教育大学構造地質学研究室		23

構造地質研究会誌第 15 号 (1973.12)

〈日本地質学会賞受賞記念講演〉

地殻変動における上部構造と土台	藤 田 至 則	1
〈実験構造地質学特集〉		
構造地質学における実験とモデルの役割	植 村 武	5
実験構造地質学への提出	藤 田 至 則	7
実験構造地質学雑感	垣 見 俊 弘	11
実験構造地質学考	宇 井 啓 高	12
構造地質学における現象把握と理論・実験との隔たり	横 田 修一郎	13
和歌山県橋本市付近の中央構造線の運動像 — 特に Model 実験と比較して		
宮田隆夫・前島 渉・前野伸一・大平善継・大西一久		14
討論会「実験構造地質学について」	編 集 部	15
〈夏の学校個人講演〉		
断層の落差別頻度分布の地域性とその意義	垣 見 俊 弘・小玉喜三郎	17
南部北上山地日詰一気仙沼構造線の周辺の地質	永 広 昌 之	18
紀伊半島牟婁帯の褶曲構造	鈴 木 博 之	20
南関東の地質構造生成機構の有限要素法による検討	樋口雄一・山口恵三・小玉喜三郎	22
東北日本北部における新第三紀の造構運動と鉱床形成の場について		
……………藤井敬三		23
褶曲形成の一型式 — 砂泥互層を主体とする桃の木堆積盆(新第三系)を例として		
……………角田史雄		24
東北地方南部から中部地方にかけた地域の三角点変動解析		

浅野雄嗣・武内和俊・矢萩順一・飯川健勝・鈴木尉元・小玉喜三郎	26
岩石の破壊について	宇井啓高 28
歌露礫岩中に認められた褶曲について	卯田強 30
二層の弾性座屈褶曲論の実験結果について	加藤碩一 32
〈北部フォッサマグナ特集〉	
フォッサマグナ研究史抄々	山下昇 33
飛騨山地および北部フォッサ・マグナ地域における第四紀地殻変動	仁科良夫 34
長野県犀川中流域の地質構造 - いわゆる犀川擾乱帯の性格について -	竹内章 35
長野県中部の新第三系中の込地向斜の形態および形成機構	水野学 38
高府向斜中央部の層序・構造	村山進・矢野孝雄 40

構造地質研究会誌第 16 号 (1974.8)

〈構造研・TP 研合同例会〉	
微小地震とテクトニクスのかかわりについて	岸本兆方 1
三波川帯の構造からみたフォッサ・マグナの問題	原郁夫・秀敬・佃栄吉・大塚杉夫・横山俊治 5
〈冬の学校特集〉	
地震と断層	安藤雅孝 10
断層発達と地かくの変形	小玉喜三郎・垣見俊弘 16
傾斜面分析法による九十九里の地盤沈下解析	本多進・大内重通・鈴木尉元・小玉喜三郎 17
四国中央部における緑色岩の化学的特性からみた古生代のプレートテクトニクスの有無について	沢田賢治 18
新潟県北部樺形山脈およびその周辺の構造地質学的研究	高橋明 20
ひずみ解析とその構造地質学的意義	池田幸夫 22
側圧下において期待される異質岩体の Shortening	横田修一郎 24
〈研究室めぐり〉	
⑤ 名古屋大学構造地質学研究室	26

構造地質研究会誌第 17 号 (1975.4)

〈夏の例会特別講演〉	
ネパール・ヒマラヤの地質構造	在田一則 1
〈冬の学校特別講演〉	
島弧 - 海溝系の Seismicity と Tectonics (東北日本の例)	南雲昭三郎 7
地震のメカニズム研究のあゆみ	市川政治 9
〈冬の学校勉強会〉紹介	
重力と地質構造 (Gravity and Tectonics)	KEES A. de JONG and ROBERT SCHOLTEN
〈冬の学校個人講演〉	

西山層泥岩の間隙水圧試験	岩松 暉・伏見敬市	14
岩石の微小変形を光の干渉を利用して検出する方法とそれによるクリープの測定例	伊 藤 英 文	15
岩石のひずみ解決法Ⅱ, 楕円法	池田幸夫・嶋本利彦	16
地下深部のマグマ貫入による隆起・陥没構造の形成	小出 仁・S. BHATTACHARJ I	17
褶曲の形成様式について	角 田 史 雄	18
鮮新—洪積世の堆積盆地の発生	藤田至則・河村春也	19
基盤褶曲に関する若干の考察(文献紹介)	加 藤 碩 一	20
側圧下において大規模な波状変形が成長するための条件	横 田 修 一 郎	22
Buckling 理論に基づく西南日本内帯の波状変形の一考察	長 谷 憲 治	23
伊豆半島の水準点変動, とくに地塊の傾動について	堀井泰紀・石山克之・宇都木 浩・鈴木尉元・小玉喜三郎	24
乱堆積構造の研究	山 内 靖 喜	25
<研究室めぐり>		
⑤ 大阪市立大学構造地質学研究室		26

構造地質研究会誌第 18 号 (1975.12)

<構造研・T P 研合同例会>

中央構造線の運動とフィリピン海プレート	塩 野 清 治	1
<夏の学校シンポジウム, 断裂のテクトノフィジクス>		
小断層と地かくの変形	小 玉 喜三郎	5
断層の形態について	永広昌之・大槻憲四郎	7
Brittle rock の破壊機構	宇 井 啓 高	8
断層とその周辺の変位分布	横 田 修 一 郎	12
討論会印象記	垣 見 俊 弘	13
<夏の学校個人講演>		
近畿における地形の波長分析とその卓越波長について	横 田 修 一 郎	15
横圧力下のブロック化した地殻の変形について	伊 藤 英 文	17
丹沢山地の結晶片岩の成因 — 層面片理の生成時期と生成条件に関する地質学的考察 —	杉 山 明	19
高知県大桁地域の秩父累帯中・古生界の構造 — 御在所山衝上線について —	伊 熊 俊 幸	20

構造地質研究会誌第 19 号 (1976.8)

<冬の勉強会特集>

一 報 告 一	編 集 係	1
一 個人講演 一		
楕円法によるひずみ解析の誤差について	池田幸夫・嶋本利彦	1
東海地方西部の第四紀後半の地殻変動	長 谷 憲 治	4
ヒマラヤの隆起などから推定できる地殻のひずみ速度について	伊 藤 英 文	6

<造構運動の速度に関するシンポジウム>

第四紀における造構運動の速度について	杉 村 新	7
地震性地殻変動のフェイズとスピード	衣 笠 善 博	8
変形速度問題の問題点	植 村 武	10
総合討論	原 郁夫・宮田隆夫・横田修一郎	13
<春の例会特集>		
一 報 告	編 集 係	15
強磁性鉱物の酸化とその残留磁気について	信州大学・百々瀬貫一	15
地中応力の直接測定について	東京電力・御牧洋一	16
例会議事「51年度の運営について」		
<トピックス>		
立川断層について	山 崎 晴 雄	17
<本の紹介>		
編集後記		22

構造地質研究会誌第 20 号 (1977.4)

<夏の勉強会特集>

報 告	編 集 係	1
基盤岩が破壊する条件としない条件	伊 藤 英 文	1
地震断層における $D = F (M)$ 式の修正	大 槻 憲四郎	3
グリーンタフ造山における隆起-陥没の数値実験		
..... 小室裕明・小玉喜三郎・藤田至則		5
伊豆半島沖地震発生の構造地質学的条件	鈴 木 尉 元	7
和泉山脈西部の和泉層群中にみられるレンズ型ブーディン構造の解析		
..... 宮 田 隆 夫		8
シンポジウム「変形構造のディメンジョンとそれを規定する場について」総合討論		
..... 永広昌之・衣笠善博・平野昌繁		9
変形構造におけるディメンジョンの認識	横 田 修 一 郎	11
断層系のディメンジョンと地震の規模	松 田 時 彦	13
断層の Maturity について	垣 見 俊 弘	14
造構運動のディメンジョン問題へのアプローチ	大 槻 憲四郎	16
コメント	植 村 武・加藤碩一	17

<冬の勉強会特集>

報 告	編 集 部	19
粉碎過程として見た造構運動のエネルギーについて	大 槻 憲四郎	19
2つのタイプのエシュロン状割れ目とその原因	小 出 仁	21
断層破碎帯の幅・変位量・破碎産物について	大 槻 憲四郎	22
花崗岩とハンレイ岩のクリープの2年間の実験結果	伊 藤 英 文	23
南部北上山地気仙州花崗閃緑岩体に発達する片状構造の起源		
..... 池 田 幸 夫		25
南部フォッサマグナにおける断層系の特徴とその形成様式について		
..... 角 田 史 雄		27

関東平野中央部における下末吉台地のブロック変形		
小玉喜三郎・鈴木尉元・鈴木幹夫・小林一典	29	
近畿北西部の活断層系(その1)・三峠断層概査報告		
長谷憲治・横田修一郎・藤田和夫	32	
〈特別寄稿〉		
高知県大桁地域の秩父累帯白亜系の変形	伊熊俊幸	34
三重県亀山市周辺の奄芸層群-奄芸層群堆積盆地の形成機構について		
和田幸雄	37	
構造地質研究会誌第 21 号 (1977.12)		
〈春の例会特集〉		
春の例会報告	編集係	1
南海スラストについて	沢村武雄	1
四国中央部における微小地震活動と構造	木村昌三	6
〈夏の学校特集〉		
夏の学校報告	編集係	9
シンポジウム「ブロック構造について-その境界・変形・規模」		9
世話人:小玉喜三郎・加藤碩一		
アンケート提供者:角田史雄・藤田至則・鈴木尉元・原郁夫・横田修一郎・		
小玉喜三郎・加藤碩一		
近畿地方の地質構造と地震断層との関係		
大須賀和雄・長谷川和寛・鈴木尉元・小玉喜三郎	14	
岩脈群による応力場解析から復元された東北日本南部における中新世の応力場		
堀清彦・竹内章	16	
信越地域の活構造(その1)-姫川活断層系	加藤碩一・山崎晴雄	18
高知県上韭生川地域の秩父累帯北帯の古生界の構造		
伊熊俊幸・桑原恵一・松浦一樹	20	
フォッサ・マグナにおける基盤の運動像	角田史雄	23
東アジアの中生代以降の造構運動・火成作用とその深部過程に関する試論		
鈴木尉元・小玉喜三郎・小林一典・坪井雅彦	25	
島弧変動期におけるブロック構造の特性	藤田至則	27
近畿中央部における断層ブロック運動	横田修一郎	28
編集後記	編集係	30
構造地質研究会誌第 22 号 (1978.12)		
〈冬の学校特集〉		
冬の学校報告	編集係	1
シンポジウム「活断層に関する地質学的研究課題について」		
信越地方の活断層とその地質学的研究課題	加藤碩一	1
近畿地方の活断層とその地質学的研究課題	横田修一郎	3
個人講演		
テクトニクスにおける岩石結晶粒径効果の重要性	伊藤英文	6
有野断層に沿う神戸層群急斜帯の小断層解析	佐野正人・横田修一郎	7

長野県北部における鮮新世以降の応力場と造構過程	竹内章	8
＜春の例会特集＞		
春の例会報告	編集係	9
北西太平洋変動帯 朝鮮－日本列島地帯地質構造論序説	立岩巖	9
＜夏の学校特集＞		
夏の学校報告	編集係	11
特別講演「花崗岩プルトンの構造岩石学 北上山地」	加納博	12
変形相について	植村武	12
来馬層群の褶曲と小構造の分類	横田優治	13
北上山地南端部・雄勝背斜の形成機構	萩原博之	16
武蔵野台地の形成と基盤のブロック運動		
	小山伸晃・坂口勝美・小玉喜三郎	18
津軽半島南部地域の主要構造の形成機構について	三村高久	19
グリーンタフ造山における陥没盆地の発生機構－粉体によるスケールモデル実験		
	小室裕明	22
日本海側地域における島弧変動	藤田至則・高浜信介	23
新第三紀の日本海発達史について日本海における古海水準の推定		
	竹内章・松岡数充・塩野清治	24
Himalayas の Main Central Thrust Zone とその意義	在田一則	26
シンポジウム「地殻の構造と深部の造構過程」		
アンケート提供者	鈴木尉元・小玉喜三郎・大槻憲四郎・藤田至則・原郁夫	28
リソスフェア研究の課題について	小玉喜三郎	31
男鹿半島巡検に参加して	橋本修一	32
GDPにつづく国際研究計画“Lithosphere”について	鈴木尉元	33
編集後記	編集係	34

構造地質研究会誌第 23 号 (1979.12)

冬の学校報告	編集係	1
南部北上山地における白亜紀造構運動－特にスレート劈開の形成機構について－		
	池田幸夫	1
春の例会報告	編集係	4
夏の学校報告	編集係	4
「奥多摩地震の構造地質学的意義」	角田史雄, 「奥多摩地震調査グループ」	5
三浦半島剣崎背斜の構造解析	国安稔	6
千葉県市原市ふきんの洪積台地の変形	紀村雅裕・寺岡達郎・小玉喜三郎	8
節理系の解析と褶曲の形成機構－北海道東部“網走構造線”沿いの雁行褶曲		
	木村学	10
中部－東北南部地方の三角点の変動解析	飯川健勝	13
愛媛県南設楽郡鳳来町三河大野付近の地質	宇井啓高	16
北部フォッサマグナの水平ずれ断層について	加藤碩一	17
高田平野南方地域における新生代の造構運動－とくに褶曲の形成機構－		
	中村和善	17

陸棚上部に発達するブロック状堆積盆地の形成モデル ……	小 玉 喜三郎 ……	20
新潟の平野を決定した変動 — 新生代におけるフォッサマグナ地方のブロック化 ……	藤 田 至 則 ……	22
シンポジウム〈フォッサマグナ地域の構造单元 火成活動, 活構造, 基盤運動〉		
北部フォッサ・マグナ地域の地質構造单元 ……	角 田 史 雄 ……	24
北部フォッサマグナにおける鮮新世の火山活動・構造方向 ……	矢 野 孝 雄 ……	26
北部フォッサマグナの構造单元 ……	加 藤 碩 一 ……	28
感想文・夏の学校に参加して ……	平 塚 英 樹 ……	29
三重県花ノ木断層に沿った震源分布 ……	横 田 修 一 郎 ……	30
編集後記 ……	編 集 係 ……	34

構造地質研究会誌第 24 号 (1980.11)

〈夏の学校シンポジウム・地震活動 地質構造〉		
関東地方の震源分布と地震メカニズム ……	牧 正 ……	1
異動震動帯の構造地質学的意義 — とくに, 東京湾北部地域を中心として — ……	昼間明・角田史雄・地震震動研究会東京東支部グループ ……	5
〈投稿・原著論文〉		
四国中央部三波川帯の地質構造と火成作用 ……	高 須 晃 ……	13
〈現代の構造地質学の課題についての提案〉		
学問的な主張は明確にしよう — 論争のすすめ ……	藤 田 至 則 ……	17
〈トピックス〉		
Post - GDP に関する 3 つの話題 ……		20

構造地質研究会誌第 25 号 (1980.12)

中・古生代造構作用の諸問題		
西南日本の中・古生代造構作用の諸問題 ……	原郁夫・秀敬・西村祐二郎 ……	1
青海 — 蓮華帯, 白馬岳地方の蛇紋岩 melange ……	中 水 勝 ……	13
丹波地帯の中・古生界層序の再検討 ……	井本伸広・清水大吉郎・丹波地帯研究グループ ……	25
三波川帯の原岩の年代および三疊紀における三波川帯 — 秩父累帯の堆積性盆地 ……	須鎗和巳・桑野幸夫・石田啓祐 ……	33
高知県横倉山地方の“秩父古生層”中に産する黒瀬川構造帯起源の異地性岩塊 ……	佃 栄 吉 ……	37
秩父帯の中生代造構環境 ……	市 川 浩 一 郎 ……	45
本部半島の先新第三系基盤岩類 ……	藤 田 宏 ……	51
舞鶴地帯のスレート劈開 ……	鈴 木 茂 之 ……	59
蒲萄山塊の地塊運動 ……	五 月 女 順 一 ……	65
上越帯西縁部大源太崗岩体中の平行岩脈群 ……	塩 川 智 ……	75
〈紹介〉 北アメリカにグリーンタフ陥没があるか ……	藤 田 至 則 ……	81

構造地質研究会誌第 26 号 (1981.6)

東北日本の中・古生代造構作用の諸問題

シンポジウム「東北日本における中・古生の造構作用の諸問題」……………

…………… 世 話 人 …………… 1

東北日本先新第三紀体構造について …………… 吉 田 尚 …………… 3

南部北上帯下部石炭系層序の再検討 …………… 川村信人・川村寿郎 …………… 31

南部北上雄勝・牡鹿地方中生界の褶曲構造

— とくにスレート劈開との関連 — …………… 滝 沢 文 教 …………… 43

岩石の変形構造からみた南部北上山地の造構作用 …………… 池 田 幸 夫 …………… 59

花崗岩活動からみた東北日本と西南日本 …………… 石 原 舜 三 …………… 67

静岡地域の地質構造発達史 — 特に、多重褶曲構造と最近の地殻変動について —

…………… 杉 山 雄 一 …………… 71

岐阜県土岐盆地の構造の研究

— 特に陥没時の断裂系について — …………… 林 讓 治 …………… 89

節理系の解析による清津峡玢岩体の進入形態の検証 …… 久保田 喜 裕 …………… 97

秋田県・太平山周辺地域の重力ブーゲ異常と地質構造 …… 品 田 正 一 …………… 107

三浦半島剣崎背斜の形成モデル …………… 国 安 稔 …………… 117

四国西半部地域の秩父帯の地質構造について ……………

…………… 佃 栄吉・原 郁夫・富永良三 …………… 127

構造地質研究会誌第 27 号 (1982.4)

東北日本の新生代テクトニクス

シンポジウム「東北日本の新生代テクトニクス」……………

…………… (世話人) 天野一男・大槻憲四郎 …………… 1

東北日本の新第三系層位学の諸問題 …………… 天 野 一 男 …………… 3

新第三系の浮遊性微化石層序の現状 — 東北日本を例として — ……………

…………… 長谷川 四 郎 …………… 19

東北日本弧南部外側地域の東西性～北西—南東性水平圧縮場を示す中新世横ずれ断層系

— 東北日本弧の中新世断層系とテクトニック応力場 …… 桑 原 徹 …………… 33

東北日本弧における新生代応力場変遷 ……………

…………… 佐藤比呂志・大槻憲四郎・天野一男 …………… 55

後期新生代堆積盆地の発達様式と初期火成活動 …………… 矢 野 孝 雄 …………… 81

グリーンタフ変動におけるマグマ性隆起・陥没—火山活動—没降・海進の系統性 ……

…………… 藤 田 至 則 …………… 101

出羽丘陵の隆起モデルについて …………… 佐 藤 比 呂 志 …………… 109

東北地方の一等三角点変動解析と被害地震の関係について ……………

…………… 飯 川 健 勝 …………… 123

収れん型境界におけるテクトニクスの“複合モデル” …… 大 槻 憲 四 郎 …………… 127

私の地震観と地球観 …………… 藤 井 陽 一 郎 …………… 143

スコットランド高地の地殻構造におけるモインスラストの意義 (演旨) ……

…………… Barber, A. J. …………… 143

舞鶴地帯の造構作用 …………… 鈴 木 茂 之 …………… 155

日高変成帯の“山脈化”における上支湧別構造帯の意義 ……………

.....	木村 学・宮坂省吾・紺谷吉弘		
	宮下純夫・保柳康一・渡辺 寧	167
西南日本における一等三角点変動解析		
.....	谷口 彰・国香 聡・飯川健勝・三梨 昂	179
夏の勉強会報告	世 話 人	197
構造地質研究会誌〔構造地質〕第28号（1982.8）			
島弧会合部のテクトニクス			
シンポジウム「島弧会合部のテクトニクス」	世 話 人	1
島弧会合部のテクトニクスー北海道の場合ー	木 村 学	5
後期新生代におけるフォッサマグナの基本構造	矢 野 孝 雄	23
論 文			
舞鶴地帯の断層	鈴 木 茂 之	47
総 説			
堆積盆地の発生と没降のメカニズム	加 藤 碩 一	61
報 告			
1981年冬の例会報告・1982年春の例会報告	事 務 局	83
構造地質研究会誌〔構造地質〕第29号（1983.7）			
論 文			
龍門山飛来峰の地質構造	龍 学 明	1
日本列島における島弧の隆起様式についての一試論	矢 野 孝 雄	13
夜久野花こう岩類の産状	鈴 木 茂 之	77
双葉構造線周辺の古応力場復元	中村康雄・高橋治之・天野一男	89
鹿島灘沖地震（1982年3月7日，7月23日）の震度分布と地塊構造との関係		
.....	坂井栄信・立中秀徳・橋倉 浩・小玉喜三郎・鈴木尉元	97
トルコの地震と地震断層について	加 藤 碩 一	113
報 告			
1982年活動報告・1983年春の例会報告	事 務 局	125